

“KANAGAWA” 福祉タイムズ

2003 9 No.622

発行日 2003年（平成15年）9月15日
毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/>
編集発行人 清水勝夫
定 価 100円（郵送料込）
印刷所 神奈川新聞社
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「動けることが楽しい」ねんりんピック徳島大会（10月18～21日）、ソフトボール交流大会に参加する本県代表チーム「相模原アリーナ」には59～80歳の25名の選手がいる。チームのレベルアップと健康管理に役立つストレッチ体操を指導する二塁手の佐竹紀夫さん（最前列右端）は、地域の他のチームにも所属して年間70試合以上をこなす。平日は仕事、土日は練習という佐竹さんは「練習でも100%燃焼することが楽しい。これだけ体が動くのもストレッチで体力の維持を図ったおかげ」と微笑む。（写真・文 菊地信夫）

あんぐる

アンズ・クリ・コレラにガン、スッポン・ネズミ・キツネにタマゴ、マツ・モミ等々から何を連想されますか？

実は各々に茸（タケ）を付けると、全て「キノコ」の名称になるのです。

九月の声を聞くとお尻がモゾモゾ、キノコ狩りのシーズン幕開けです。休みになると早起きしては、富士山麓へと足を運びます。

春夏秋冬、四季折々アウトドアブームに乗り、自然と接することが多い中、森の妖精「キノコ」ほどメルヘンの世界はありません。ほの暗く、しっとりとしたブナ・モミ・ツガ林へと足を踏み入れ、キノコを探します。

初め見つからなかったキノコも、徐々に目が慣れてくると一本又一本、キノコの家は紅テング茸、黄色に紫・白色と彩色、姿形に香りまで千差万別、キノコの群生にしばし目を奪われます。

林の五線に踊る音符、まさに緑のフィールドで森とキノコが奏でるシンフォニー、思わず耳を澄まして聞き入ります。

この間、頭の中は空っぽ。森林パワー、キノコパワーに明日へのエネルギーを与えてもらう瞬間です。

紅梅学園総合園長 大峽健一

目次……………CONTENTS

誰もが参加できる世の中をつくる……………	2・3
地域福祉コーディネーターを考える交流会開かれる……………	4
雇用と年金の接続を目指して……………	5
地域支援はまず家族を知ることから……………	6
かながわ長寿社会開発センターいきはつらつ……………	7
連載・心のゆたかさをはぐくむ(6)……………	10・11